

設備投資の現状について

平成27年10月16日
経済再生担当大臣 甘利 明

企業収益が増大する中、大企業の設備投資は横ばい、中堅・中小企業は増加。

増加率

(2012年10-12月 → 2015年4-6月)

設備投資	
(大企業)	3%増 (0.2兆円増)
(中堅・中小企業)	28%増 (1兆円増)
経常利益	55%増 (7兆円増)

(資料)財務省「法人企業統計季報(金融業、保険業除く。)」

※1 設備投資は、ソフトウェア除く。

※2 大企業、中堅・中小企業の設備投資はX-12 Arimaによる季節調整値。

※3 大企業は資本金10億円以上、中堅・中小企業は資本金1,000万円以上10億円未満の企業。

設備年齢は過去20年間で5～6年老朽化。

設備年齢
(製造業)

1993年

10.9年

20年間で
5年老朽化

2013年

16.3年

設備年齢
(非製造業)

1993年

9.4年

20年間で
6年老朽化

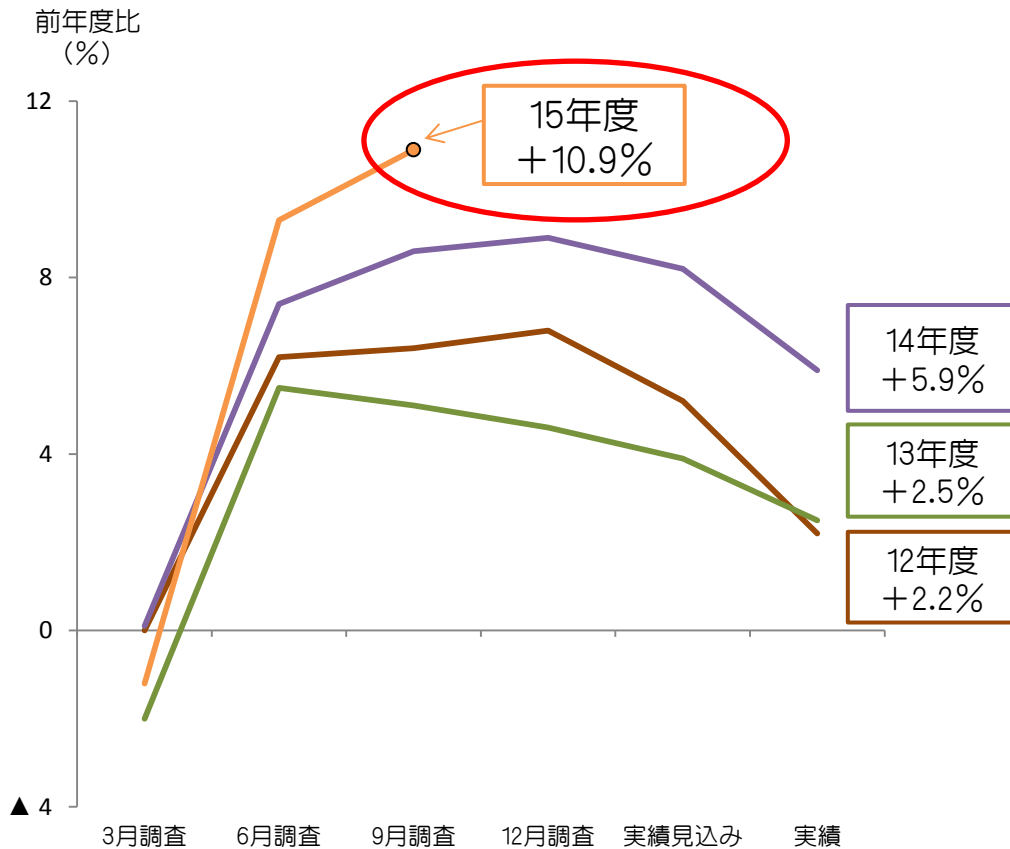
2013年

15.5年

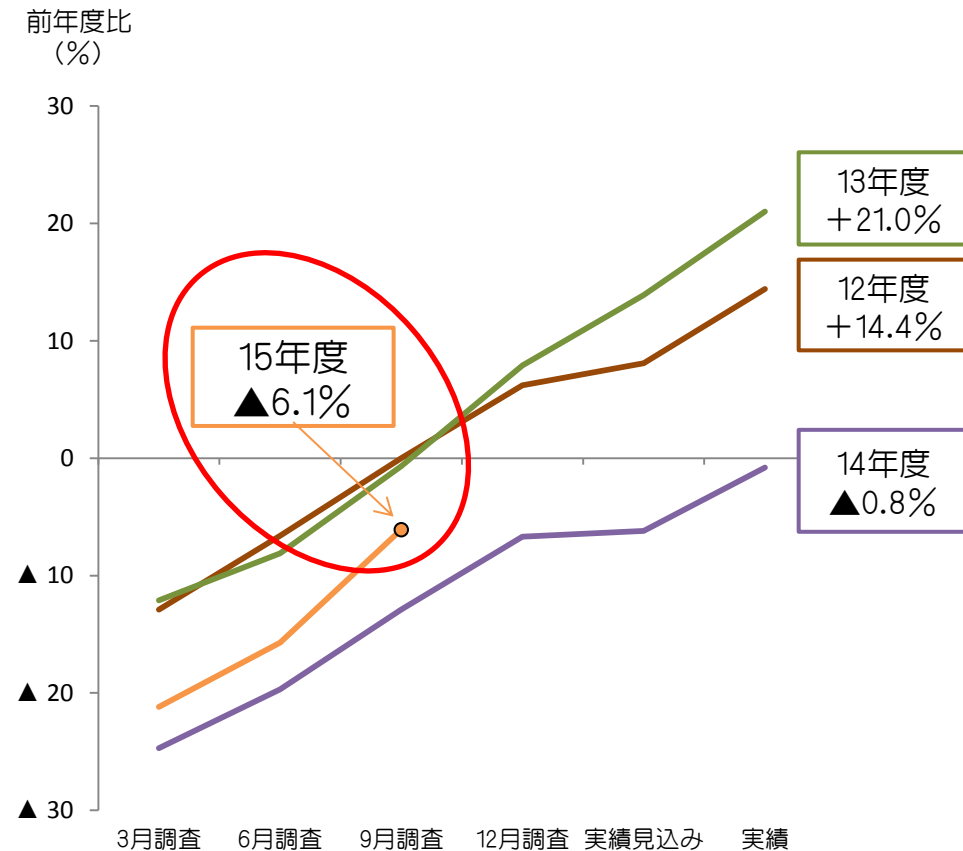
今年度の設備投資計画は、大企業が大きく増加する一方、中小企業は例年並み。

<今年度 設備投資計画>

大企業



中小企業



(資料) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」

※1 ソフトウェアを除く。

※2 大企業は資本金10億円以上、中小企業は資本金2,000万円以上1億円未満。

企業は先行きに慎重化。設備投資計画が実行されるか、企業マインドが不安材料。

先行きの業況判断D.I.

	大企業		中小企業	
	製造業	非製造業	製造業	非製造業
変化幅 (2015年 4-6月 ↓ 7-9月)	▲6ポイント 悪化	▲2ポイント 悪化	▲2ポイント 悪化	横ばい

(資料)日本銀行「全国企業短期経済観測調査」

※1 大企業は資本金10億円以上、中小企業は資本金2,000万円以上1億円未満。

※2 業況判断D.I.は、「良い」-「悪い」。

人手不足に対応するための省力化投資や生産の国内回帰の動きが見られる。

人手不足への対応

- 今後、省力化投資を検討していると回答した企業の割合
製造業149社のうち4割

生産の国内回帰

- 逆輸入製品、海外市場向け製品を国内生産に切り替える事例が増加。
 - <パナソニック> 卓上IH調理器の組立工程を中国から神戸市に移管。
 - <OKIデータ> 国内向けモノクロプリンターの生産を中国から福島市に移行。
 - <日産自動車> 北米向けSUV車を国内で補完生産することを予定。

(資料)日本政策投資銀行「2015年度設備投資計画調査」、経済財政諮問会議資料、企業IR資料から作成

※ 調査対象は資本金10億円以上の大企業(農業、林業、金融保険業を除く)。回答社数は2,203社。調査時点は2015年6月25日。